



若林みきおの 議会だより

2011年(平成23年)4月
第 10 号

若林幹雄(東御市議会議員)
東御市滋野乙2724
Tel/Fax0268(62)2070
mail : m-wakabayashi@po15.ueda.ne.jp

頑張ろう！につぽん！

今回の東日本大震災・大津波・福島原発事故で被害に会われた皆様に心からお悔やみ申しあげます。また人命救助や支援にあたっているすべての皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

市では透析患者の受け入れを表明、あわせて義援金と義援物資を募集しています。私達太陽と風の会では市長に対し、被災された方々の受け入れを要請しました。

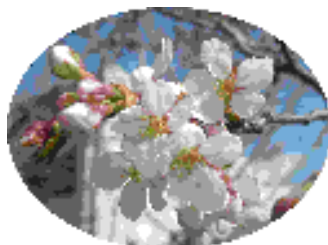
そんな中、北御牧中学校の生徒会の皆さんが田中駅頭で募金と演奏活動を行いました。多くの方々が被災地の方々を思いやって心を痛め、自分達にできることで支援に立ち上がっています。

これまで私たちは「自己責任」という言葉を多用してきました。どんなにつらくても苦しくても「自分が悪い」と自らを責め、会社からは「結果を出せ」と迫られ、まわりの人々との「きずな」を自ら断ち切って生きてきました。

人はひとりでは生きられない

しかし、こうして大惨事を目の当たりにしてみると、結局私たちは一人では生きられないんだと言うしごく当たり前の事実にはたと気づかされます。そして人々のやさしさや心のあたたかさにはいやされるのです。

今回の大惨事を契機に私たちは生き方を変えなければなりません。人びとがお互いにいたわりあい、支えあい、思いやる社会こそがいま必要なのではないでしょうか。



随想

心は見えないが
心づかいは見える

最近のCMにこんなフレーズがあります。聞いたことがおありでしょうか。震災後の心が病んでいるときだからでしょうか。何か心に残るCMでした。調べてみましたら詩人・作詞家の宮澤章二さんの詩でした。宮澤さんのご命日は3月11日。なんと東日本大震災の日でした。



左はCMの映像です。以下に詩の全文を掲載いたします。

行為の意味

「心」は誰にも見えないけれど、
「心づかい」は見える。

「思い」は見えないけれど
「思いやり」は誰にでも見える。

あなたの<こころ>はどんな形ですか
ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも<こころ>は見えないけれど
ほんとうに見えないのであろうか

確かに<こころ>はだれにも見えないけれど
<こころづかい>は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の<思い>は見えないけれど
<思いやり>はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
<心>も<思い>も 初めて美しく生きる
…それは 人が人として生きることだ

「行為の意味・宮澤章二著・青春前期のきみたちに」より

一般質問

地域の雇用と消費、地域活動の担い手 地元業者を育てるべきだ！

今年は舞台が丘整備事業や保育園など大型の公共工事が目白押しです。こうした中、地元建設業者は受注の機会として注目しています。彼らは地域の雇用と消費を支え、消防団など地域活動の重要な担い手です。こうした地元中小企業を育てる取り組みがいまこそ必要ではないでしょうか。

入札方式に問題はないのか

問 当市は公共工事の落札率90%以上の割合が県下3番目に多い。オンブズマンは問題だとしているがどのように認識しているか。

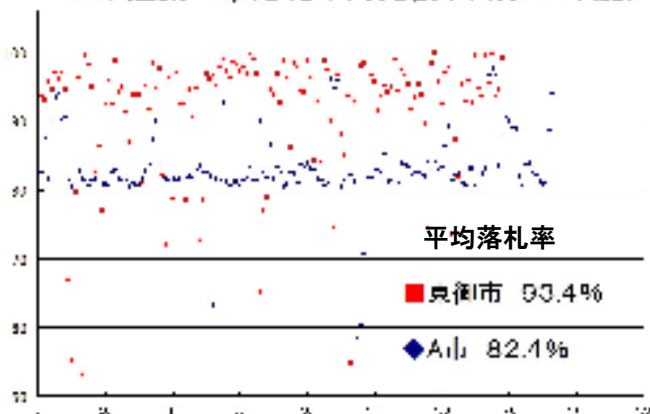
答 問題であるとの認識は持っていない。

問 落札率が一番低いA市と比較してみた。当市では予定価格へ限りなく近づき、A市では最低価格へ限りなく接近している(下図参照)。

答 予定価格の水準はA市と東御市では異なる。同じに論ずることは適切ではない。

問 指名競争入札は業者育成、一般競争入札(注)は競争原理が働くというメリットがあり一長一短だ。競争原理を働かせつつ地元業者育成に取り組んでほしい。

159) 土木建築工事落札率対比表(平成22年度)



【解説】 落札率は東御市の場合100%(予定価格)に限りなく接近、A市の場合は80%台に設定されている最低落札価格に限りなく接近しています。双方に大きな違いが見られます。

(注)指名競争入札とはあらかじめ選定された業者の中で入札する方式です。これに対し一般競争入札では希望する企業は誰でも入札に参加できます。東御市の場合ほとんどが指名競争入札に対し、A市では一般競争入札となっています。この差が落札率の差となって表れているのではないのでしょうか。

多くの業者が潤うように配慮すべき

問 工事発注にあたっては分割するなど、多くの市内中小業者が潤うように配慮すべきだ。

答 できるものは分割発注するようにしている。

問 「できるものは」というのではなく、どうしたら発注できるかという視点で考えてほしい。地元業者を育てる取り組みを行ってほしい。

答 地元業者を育ててこなかった面はあったかもしれない。元受業者には地元を使うよう求めておりその中で育つことを願っている。



住宅リフォーム制度の創設を！

問 住宅リフォーム制度は経済対策上も有効だ。より使い勝手の良い制度にしてほしい。予算も十分に確保し、始まったらすぐに底をついたということにないようにしてほしい。

答 これまでにない良い制度をつくりたい。

* 以上の他、市内中小企業育成のための「中小企業振興条例」の制定を提案しました。

ミニ解説 住宅リフォーム制度とは？

住民が住宅のリフォームを行った際、その費用の一部を市町村が助成することにより住宅改修を促進するとともに、中小零細事業者の振興を図るものです。上田市では20万円以上の工事に対し20%、10万円を限度に助成が受けられます。

第1回
定例会

「子育てしやすいまち」 を目指します！

去る2月23日から始まった平成23年第1回定例会は3月18日に終了し、一般会計予算141億7600万円(前年比9.6%増)等を全員一致で可決しました。

この間、東日本大震災に対し市として寄付金1000万円を追加上程。義援金や義援物資の受付、透析患者の受け入れなどいち早い取り組みを実施。東御市議会としても義援金を集めることを決め、早速取りまとめました。

歳入の主なものは地方交付税が40億2800万円、市税が38億7000万円、市債(借入金)が23億7000万円、国庫支出金が12億2200万円などとなっています。

歳出の主なものは市庁舎改築等舞台が丘整備事業で10億円、御牧乃湯改修事業で3億7000万円、市営住宅団地改築事業で2億5000万円などとなっています。

■ 「子育てしやすいまち」への取り組み ■

そんな中で注目されるのは保育園の整備、中学校2年生までの医療費の無料化、予防接種の補助対象拡大、学校教育における学力向上・不登校対策、児童館への学習アドバイザーの配置など、出産から学校卒業までを支援する「子育てしやすいまち」への取り組みです。

■ 合併特例債で高まる借入金のウェイト ■

一方市債(借入金)は前年比101.3%の大幅増。歳入全体の中における構成比も、前年の9.1%から16.7%とそのウェイトを高めています。この要因は舞台が丘整備などで合併特例債が増えたことによるものです。市債の平成23年度残高は、154億5600万円となっています。

太陽と風の会―被災者受入れを申し入れ



「太陽と風の会」(桜井・阿部・蓮見議員、そして私)は3月22日市長に面会。東御市として東日本大震災の被災者受入れを申し入れました。すでに長野県内でも飯田市などが友好都市などからの受け入れを行っています。市長は長野県と連絡をとって進めたいと回答されました。早急な実施を願うものです。

より良い滋野保育園をつくろう！



一地区一園構想のもとで始まった保育園統合計画も津津保育園が完成、次は滋野保育園の番

です。建設場所は大石の水道タンク(写真)の南側で、統合される東保育園と滋野保育園の中間。小学校の通学路沿いです。

建設場所選定にあたっては、一昨年12月に保護者の皆さん、地区の皆さん、そして滋野議員団も一緒になって現地で決めたものです。南斜面で日当たりが良く、広い道路が東西南北に通り返迎にも便利です。

今年度予算に滋野保育園の測量・設計委託料が計上され、24年には建設に着手、25年春までに竣工の予定です。よりよい保育園をつくるために皆様のご協力をよろしくお願いします。



お困りごと相談所

お気軽にご相談ください。

0268(62)2070

議員日誌(1~3月)

1月 1日初日の出を小浅間山頂で。3日中屋敷区総会。7日議会広報委員会。9日片羽のドンド焼き。11日告別式。15日新旧区長会。16日郷土史研究会新年会。18日上田地域市町村議員研修、滋野ガイドブック検討会。19~20日議運・広報の行政視察。22~23日自治体政策セミナー。25日病院と要望を語る会。27日認定農業者との懇親会。

2月 1日滋野児童クラブ開所式。2日上田市との議員研修。3日上下水道審議会。4日臨時議会。6日片羽わら馬引き。9日知人絵画個展。10日北方領土県民大会。11日千葉県佐倉市で雷電墓前祭へ参列。15日透析病棟オープン。17日東御市議会議員研修。18日おひさま理事会。19日市政と要望を語る会。23日3月議会開会。

3月 1日広報委員会。3・4・7日一般質問。9日総括質疑。10~14日常任委員会。11日東日本大震災・大津波、福島原発事故。15日予算委員会。16日北御牧中学校卒業式。17日滋野小学校卒業式。18日議会閉会。24日御牧ヶ原水道組合議会。25日滋野保育園卒園式。30日地域医療を語る会。

写真で見る議員活動(1月～3月)



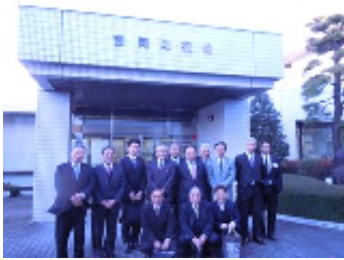
平成23年の初日の出

山仲間と元旦の朝小浅間に登り、関東平野から昇る初日の出を見ました。新しい年への願いを込め手を合わせました。



透析病棟オープン

2月15日、市民病院の透析棟の増築工事が完了し、17床に増床されました。病室は広く、明るく開放的な環境で治療が受けられることになりました。



議会だよりの視察です

1月19・20日、議会広報委員会と議会運営委員会の視察で、群馬県吉岡町と埼玉県戸田市を訪れました。議会活動に資するものがありました。



市政報告会を開催

2月19日、市政と要望を語る会を開催。お寒い中大勢の方においでいただき、ご意見をお伺いすることができました。



滋野児童クラブ開所式

2月1日、待ち望まれていた滋野児童クラブがオープンしました。これで市内5地区すべてに設置されました。共働きのご家族も安心です。



柵津保育園が竣工

2月28日、柵津保育園が竣工し記念式典が開かれました。式典後の発表会では子供たちの元気な歌が披露されました。



伝統行事ーわら馬引き

2月6日片羽の「わら馬引き」の伝統行事が行われました。子供達はお父さんが悪戦苦闘して作ったわら馬を引いて、道祖神へ参拝しました。



会派で病院視察

3月1日、会派「太陽と風の会」で市民病院を訪問。率直な意見交換が行い、病院経営について勉強することができました。



雷電の法要に出席

2月11日、千葉県佐倉市を訪問、雷電の法要に出席しました。あいにくの雪でしたが雷電太鼓の演奏を聞き、楽しく交流を深めることができました。



東北関東大震災

3月11日、東日本大震災で未曾有の大惨事が起きました。3月21日から北御牧中学校の生徒さんが、田中駅前募金活動を行いました。

編集後記 — いまこそ心ひとつに、一步踏み出しましょう。

- ▼ 地震直後テレビで住宅街を津波が襲う瞬間を見ました。津波の直前を走っている車が津波に飲み込まれました。声も出ませんでした。
- ▼ 被害にあわれ命を落とされた皆様のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を心から願うものです。
- ▼ それにしても私たちが安心だ、安全だと思っていたことがいかに壊れやすいものであったのかを思い知らされました。

- ▼ 福島原発事故による電力不足は深刻です。市民生活と日本経済に対し大打撃を与えました。
- ▼ 今こそ私たちは力を合わせ心ひとつに、この国難に立ち向かわなければなりません。勇気を奮い起し、一步前に踏み出しましょう。

■ブログをご覧ください

「若林みきおの議員日誌」で検索しても見られます。

http://blog.goo.ne.jp/dragonfly_nagano/